

# 人権に関する都民の意識調査 概要版

令和3年2月

## 調査概要

### <調査目的>

人権に関する都民の意識等を調査し、今後の人権施策を進めていくための基礎資料として活用していくことを目的とする。

### <調査項目>

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 日本の社会における人権の尊重 | 7 東京における外国人の人権      |
| 2 人権に対する意識・関心    | 8 犯罪被害者やその家族の人権     |
| 3 条例の認知度について     | 9 インターネットによる人権侵害    |
| 4 L G B T等について   | 10 新型コロナウイルス感染症について |
| 5 ヘイトスピーチについて    | 11 啓発事業について         |
| 6 同和問題に関して       | 12 人権尊重社会の実現について    |

### <調査設計>

- (1) 調査方法：インターネットモニターを対象としたWebアンケート調査
- (2) 調査対象：都内に在住する18歳以上の男女10,000人。  
男女比・年齢層の比は、18歳・19歳は400人とし、20代から60歳以上の年齢層及び男女の比を概ね均等に配分している。
- (3) 調査実施期間：令和2年12月1日(火)～12月14日(月)

東京都総務局人権部

## 1 日本の社会における人権の尊重

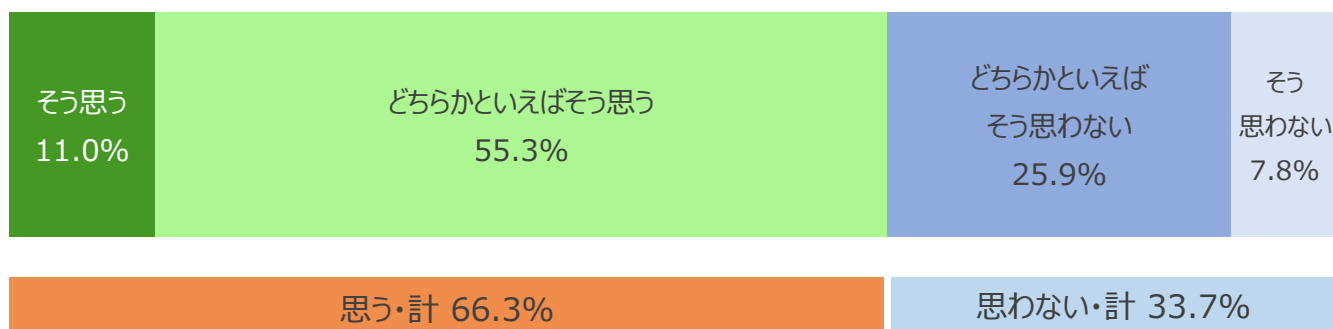
問1 あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。

(報告書 P5～P6)

『思う・計』は66.3%、『思わない・計』は33.7%。

※『思う・計』は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計、 『思わない・計』は「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計。

n=10,000



## 2 人権に対する意識・関心

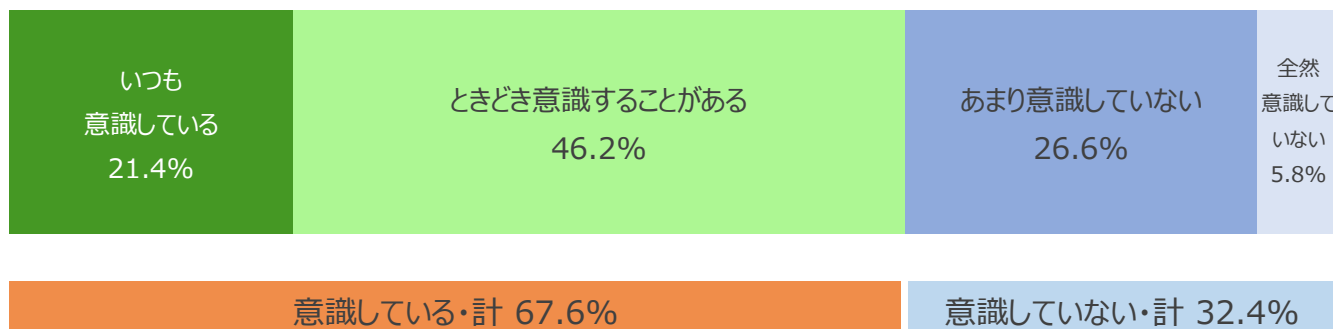
問2 (1) あなたは、日頃、他人の立場を尊重するなど、人権を意識しながら生活していますか。

(報告書 P7～P8)

『意識している・計』は67.6%、『意識していない・計』は32.4%。

※『意識している・計』は「いつも意識している」「ときどき意識することがある」の合計、  
『意識していない・計』は「あまり意識していない」「全然意識していない」の合計。

n=10,000

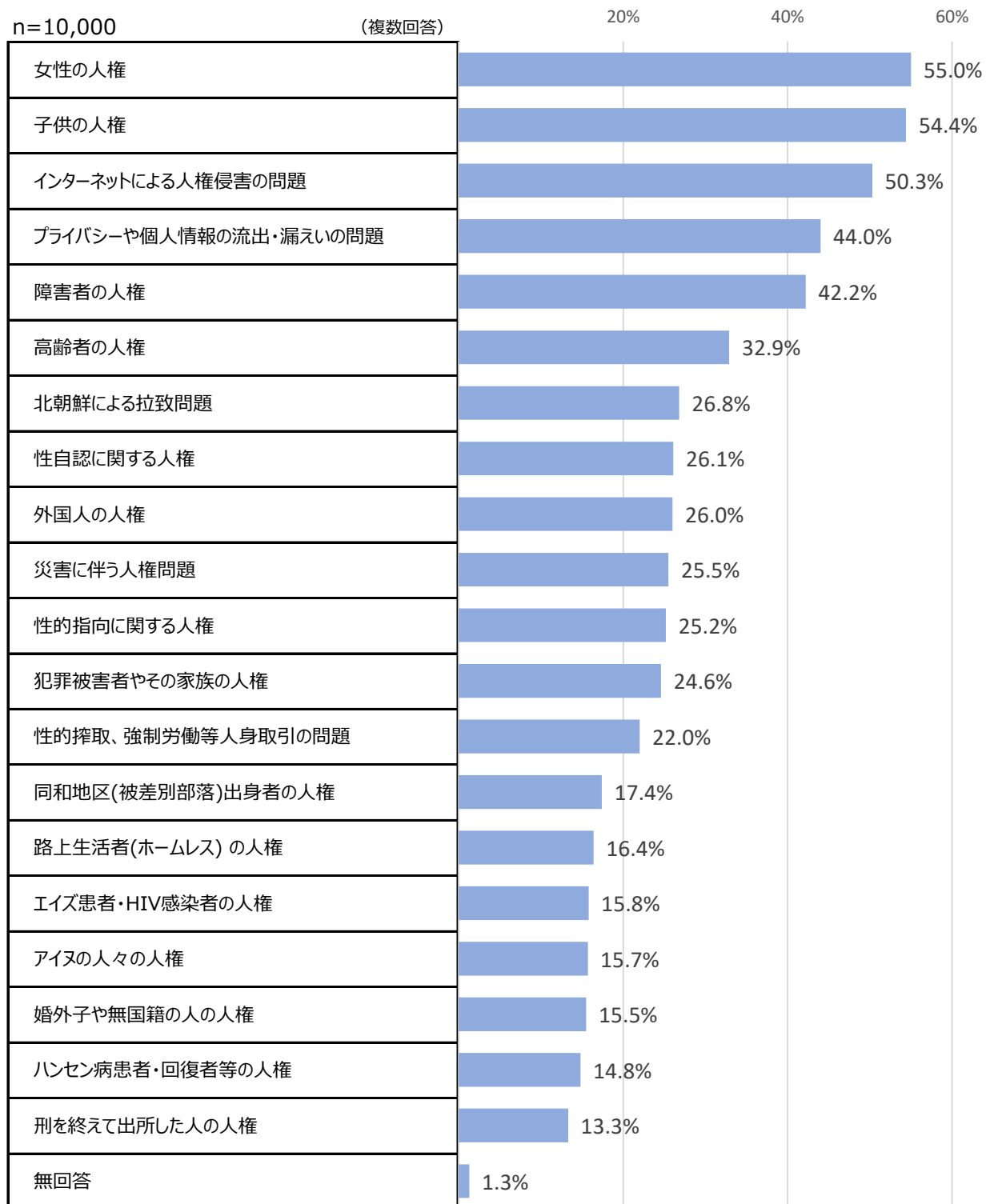


問2（2）人権に関わる問題のうち、あなたが関心のあるものをすべて選んでください。

（報告書P9～P10）

「女性の人権」55.0%がトップ。

「子供の人権」54.4%、「インターネットによる人権侵害の問題」50.3%と続く。



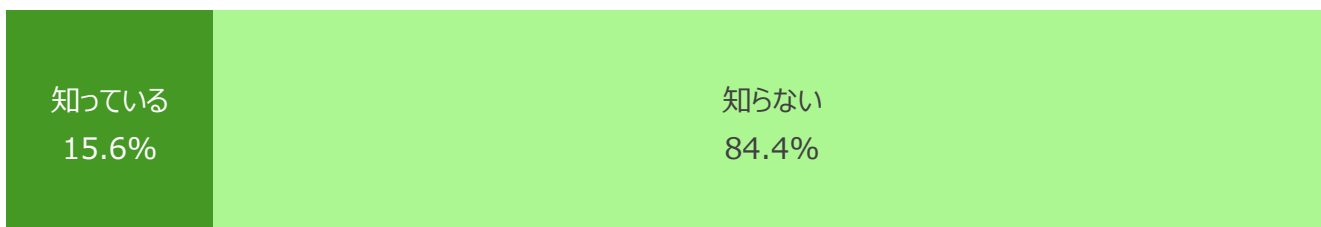
### 3 条例の認知度について

問3 あなたは、東京都で「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」が制定されていることを知っていますか。

(報告書 P11～P12)

「知っている」は15.6%、「知らない」は84.4%。

n=10,000



参考：東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例（平成30年10月制定）

東京都が、いかなる種類の差別も許されないという、オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念が広く浸透した都市となることを目的としています。この条例では、多様な性（LGBT等）の理解及び本邦外出身者に対する不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）の解消に向けた取組等を推進することを目指してしています。

### 4 LGBT等について

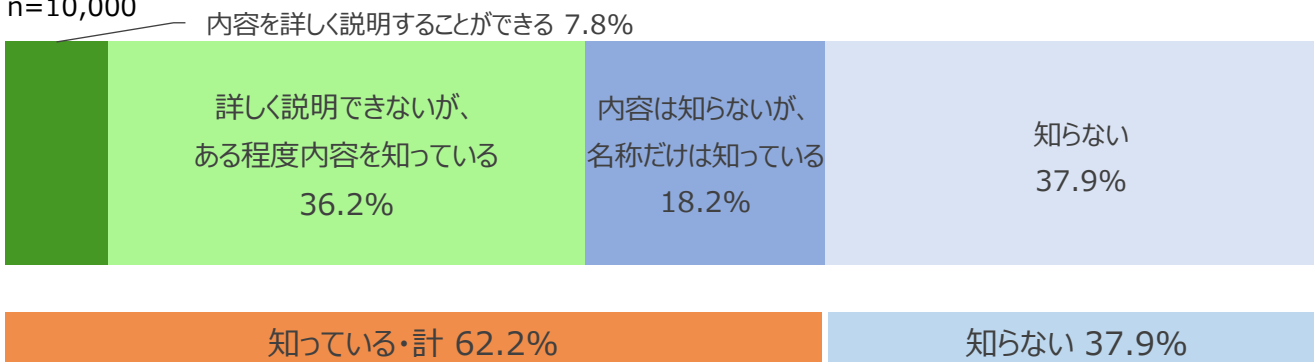
問4（1）「性自認」という言葉について、知っていますか。

(報告書 P13～P14)

『知っている・計』は62.2%、『知らない』は37.9%。

※『知っている・計』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけは知っている」の合計。

n=10,000

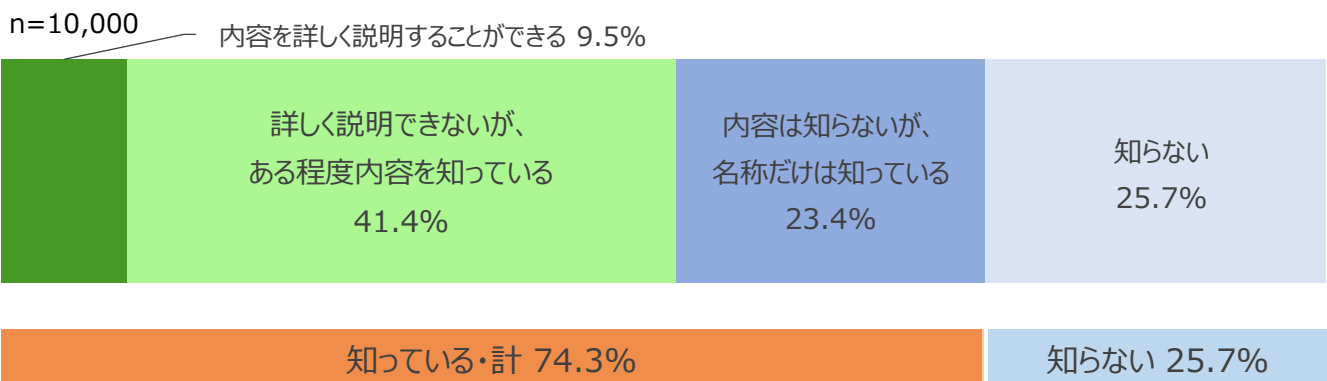


#### 問4（2）「性的指向」という言葉について、知っていますか。

（報告書 P15～P16）

『知っている・計』は74.3%、『知らない』は25.7%。

※『知っている・計』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけは知っている」の合計。

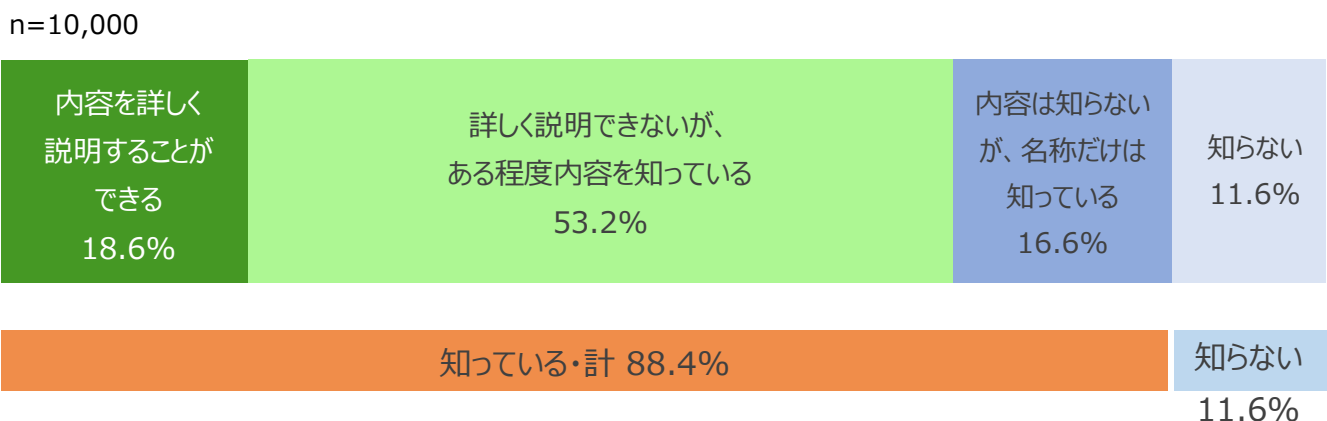


#### 問4（3）LGBTという言葉について、知っていますか。

（報告書 P17～P18）

『知っている・計』は88.4%、『知らない』は11.6%。

※『知っている・計』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけは知っている」の合計。



**問4（4）LGBT等の性的少数者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。**

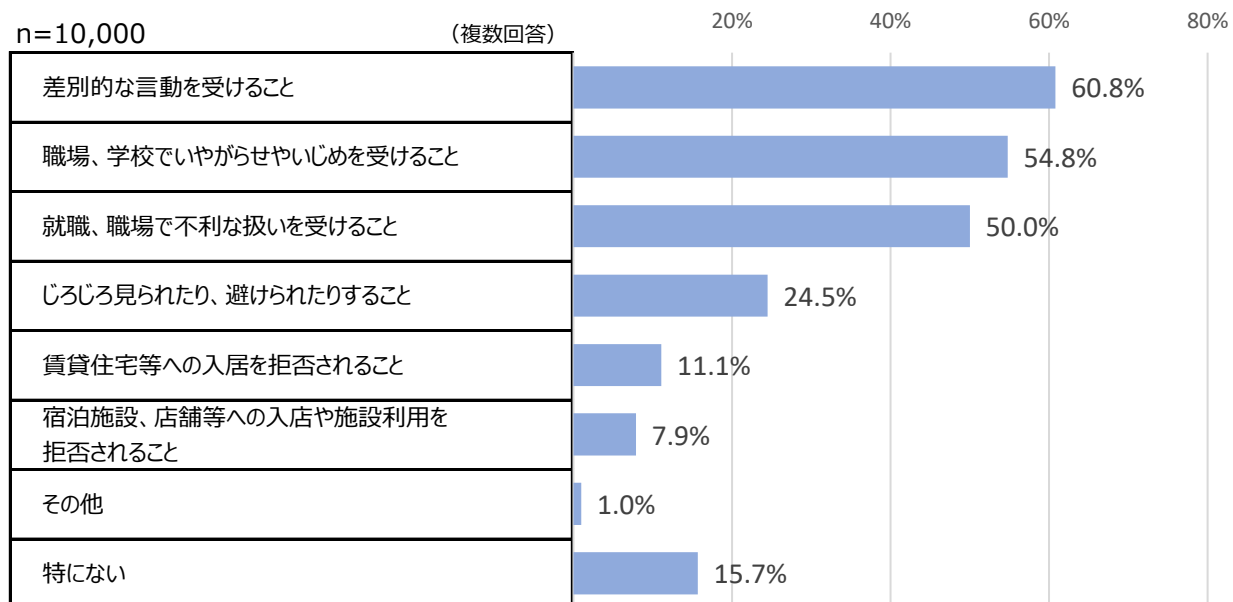
**この中からあてはまるものを3つまでお選びください。**

（報告書P19～P21）

「差別的な言動を受けること」60.8%がトップ。

「職場、学校でいやがらせやいじめを受けること」54.8%、

「就職、職場で不利な扱いを受けること」50.0%と続く。



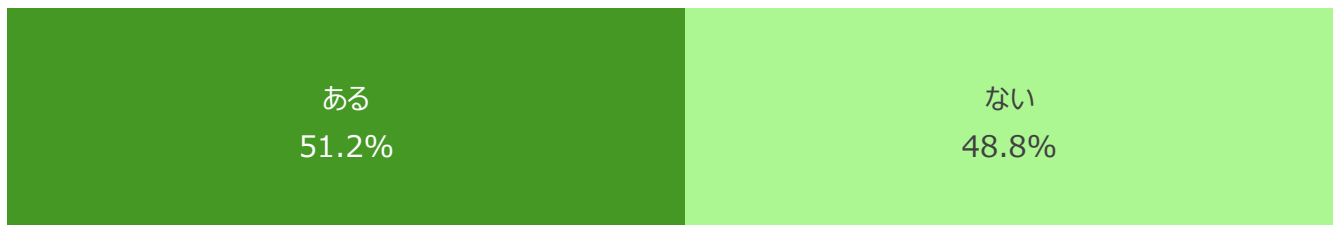
## 5 ヘイトスピーチについて

問5（1）あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を見聞きしたことがありますか。

（報告書P22～P23）

見聞きしたことが「ある」は51.2%、「ない」は48.8%。

n=10,000



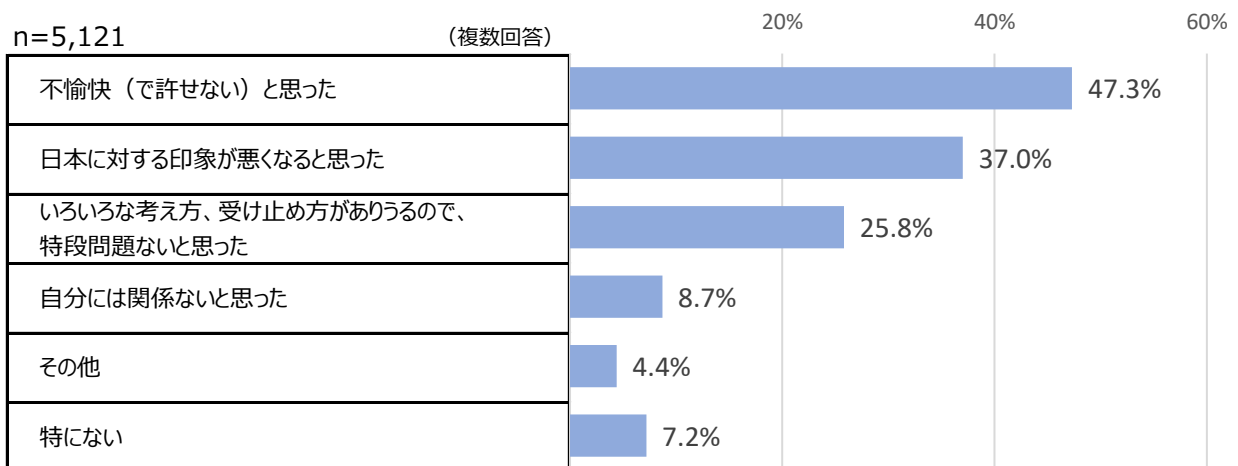
問5（2）そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。この中からあてはまるものをいくつかお選びください。 ※問5（1）で「ある」と回答した人のみ

（報告書P24～P26）

「不愉快（で許せない）と思った」47.3%がトップ。

「日本に対する印象が悪くなると思った」37.0%、

「いろいろな考え方、受け止め方がありうるので、特段問題ないと思った」25.8%と続く。



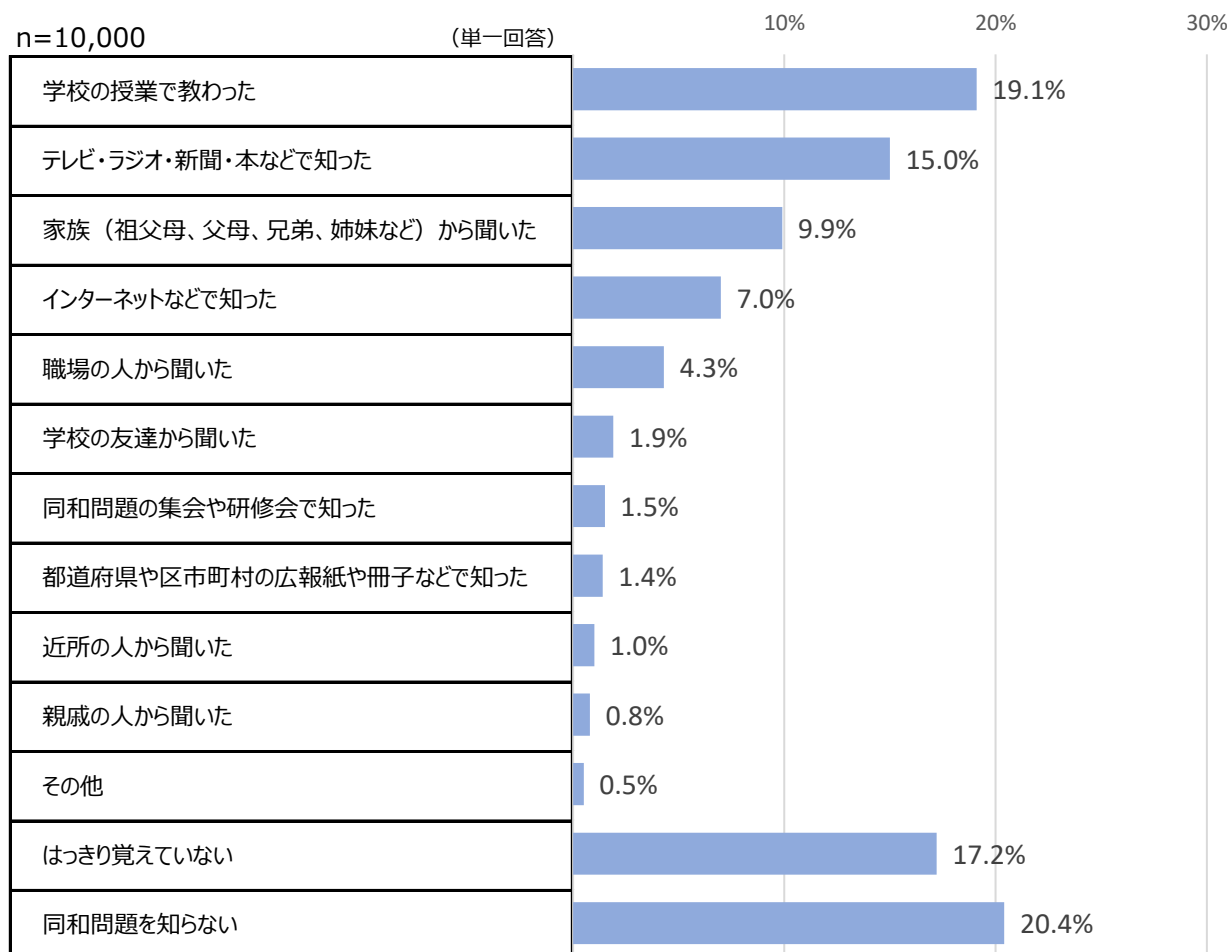
## 6 同和問題に関して

問6（1）あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったきっかけは何からですか。

この中からあてはまるものを1つお選びください。

（報告書P27～P29）

「学校の授業で教わった」19.1%、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」15.0%と続く。  
「同和問題を知らない」人は20.4%。



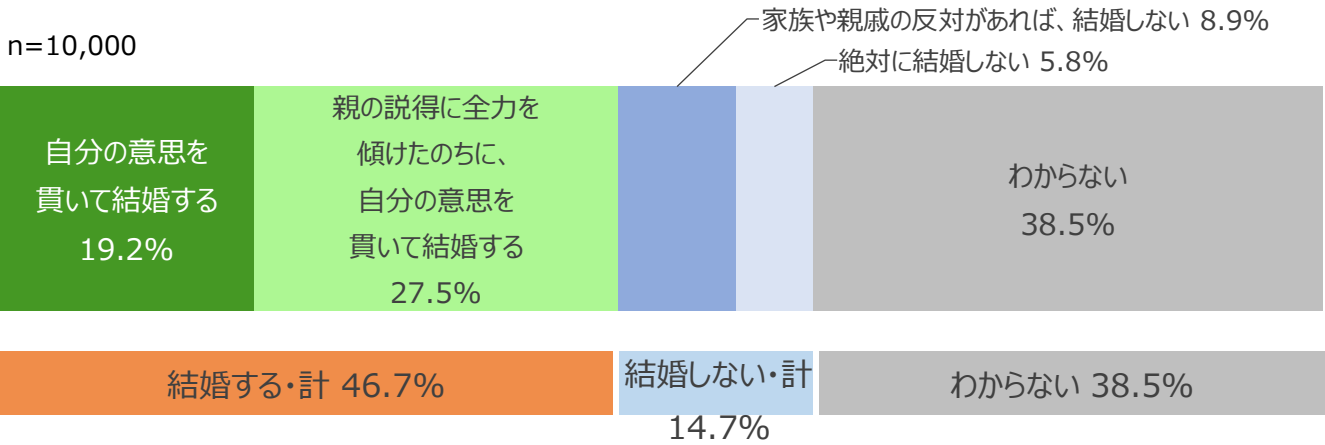


**問6（2）仮にあなたが同和地区の人と結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。**

（報告書 P 30～ P 31）

『結婚する・計』は46.7%、『結婚しない・計』は14.7%、『わからない』は38.5%。

※『結婚する・計』は「自分の意思を貫いて結婚する」「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」の合計、  
『結婚しない・計』は「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」「絶対に結婚しない」の合計。



## 7 東京における外国人の人権

問7 あなたは、東京に住んでいる外国人に対し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

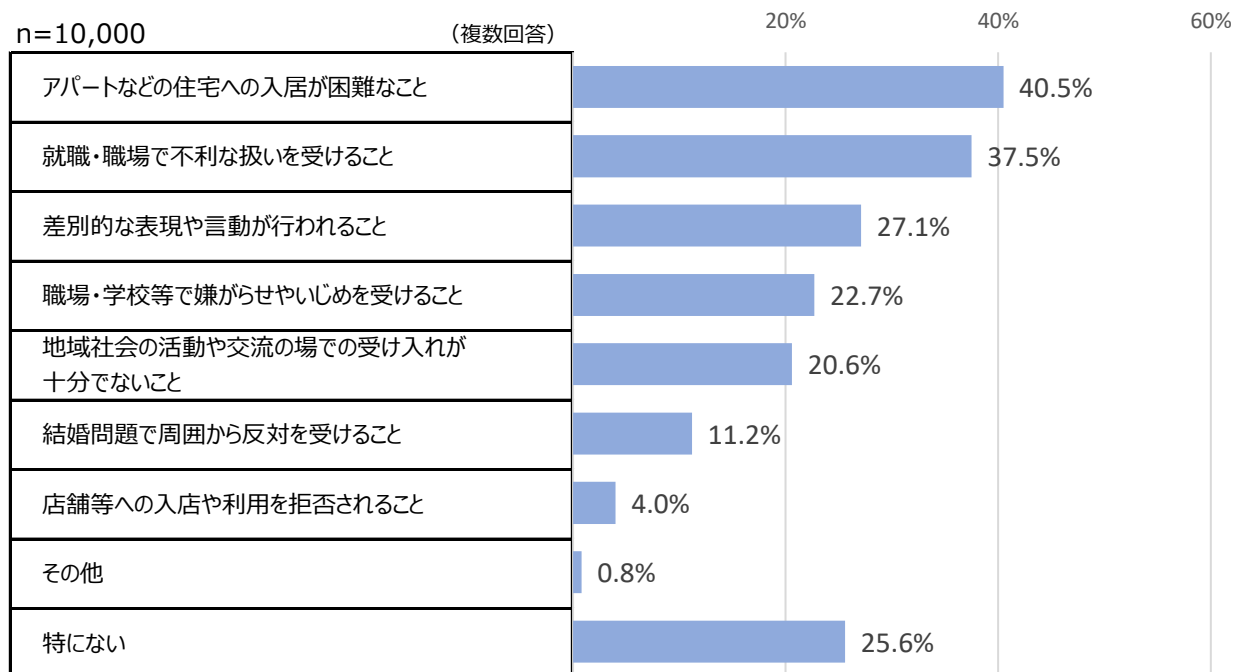
この中からあてはまるものを3つまでお選びください。

(報告書P32～P34)

「アパートなどの住宅への入居が困難なこと」40.5%がトップ。

「就職・職場で不利な扱いを受けること」37.5%、

「差別的な表現や言動が行われること」27.1%と続く。



## 8 犯罪被害者やその家族の人権

問8（1）犯罪被害者及びその家族が、生命を奪われる、身体を傷つけられるなどの直接的な被害のほかにも、様々な問題を抱えていることを知っていますか。

（報告書 P 35）

『知っている・計』は68.9%、『知らない』は31.2%。

※『知っている・計』は「十分知っている」「ある程度知っている」の合計。

n=10,000



問8（2）犯罪被害者及びその家族に対して、その立場や心情に沿った適切な支援が十分に行われていると思いますか。

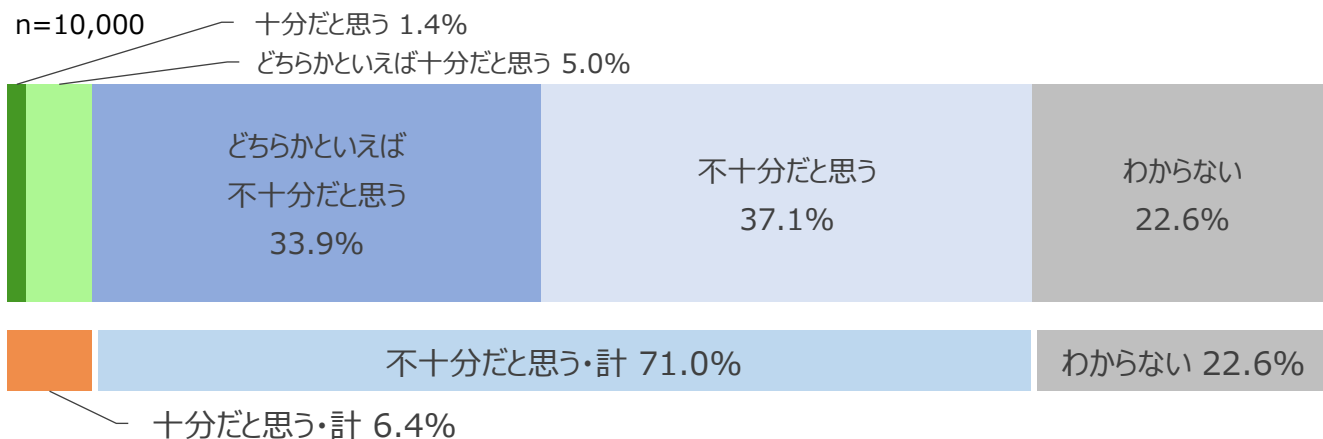
（報告書 P 36～P 37）

『十分だと思う・計』は6.4%、『不十分だと思う・計』は71.0%、『わからない』は22.6%。

※『十分だと思う・計』は「十分だと思う」「どちらかといえば十分だと思う」の合計、

『不十分だと思う・計』は「どちらかといえば不十分だと思う」「不十分だと思う」の合計。

n=10,000

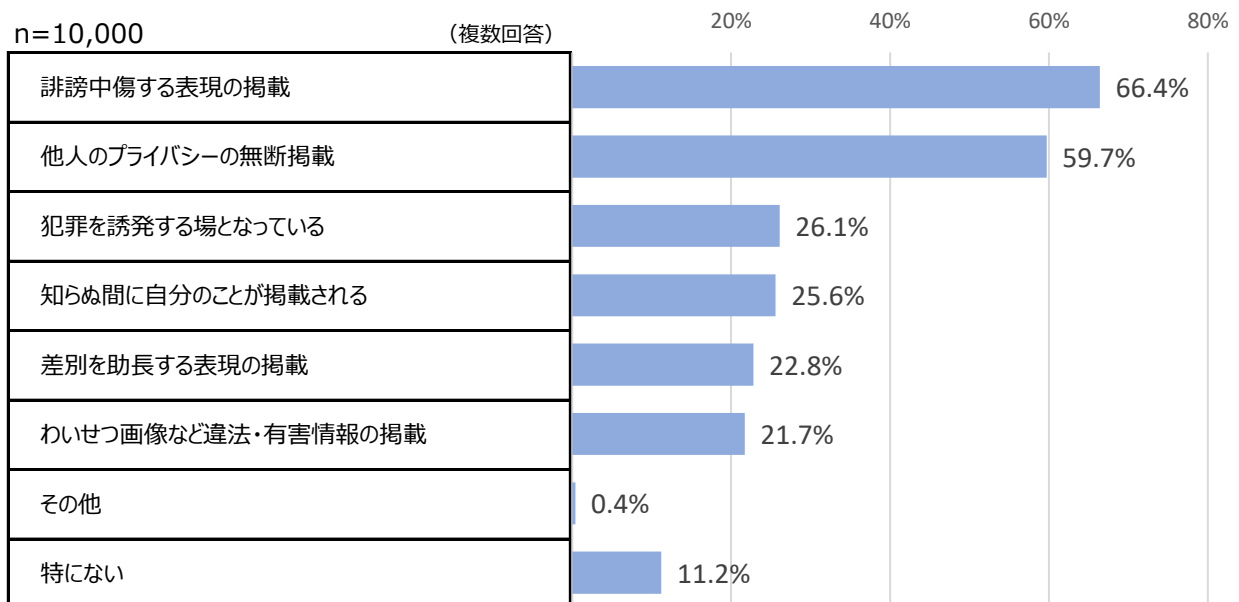


## 9 インターネットによる人権侵害

問9（1）あなたが、インターネットによる人権侵害に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。この中からあてはまるものを3つまでお選びください。（報告書 P 38～ P 40）

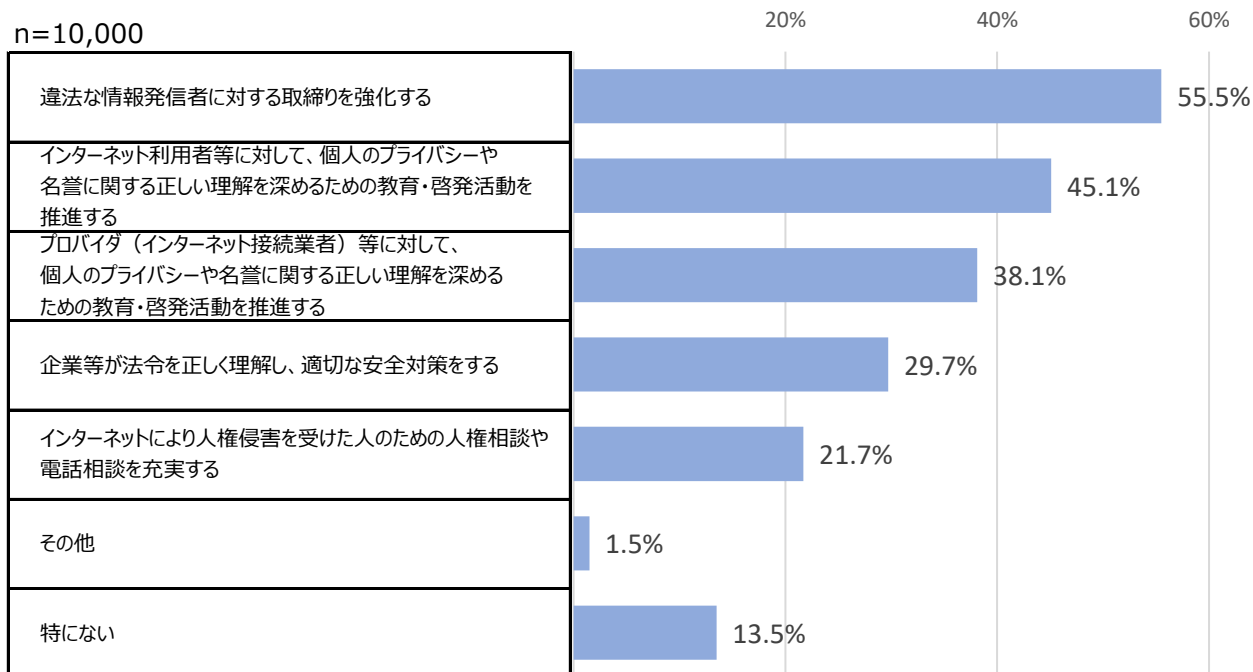
「誹謗中傷する表現の掲載」66.4%がトップ。

「他人のプライバシーの無断掲載」59.7%と続く。



問9（2）あなたは、インターネットによる人権侵害を解決するためにはどのようなことが有効だと思いますか。  
 この中からあてはまるものを3つまでお選びください。（報告書P41～P43）

「違法な情報発信者に対する取締りを強化する」55.5%がトップ。  
 「インターネット利用者等に対する教育・啓発活動の推進」45.1%、  
 「プロバイダ等に対する教育・啓発活動の推進」38.1%と続く。



## 10 新型コロナウイルス感染症について

問10（1）新型コロナウイルス感染症の感染者や医療従事者（いずれもその家族を含む）などに対する言動について、以下のようなこと<sup>※</sup>を見聞きしたことはありますか。 （報告書 P 44）

見聞きしたことが「ある」は56.6%、「ない」は43.5%。

n=10,000



※ 提示した例（テレビや新聞報道等で見聞きした場合も含む）

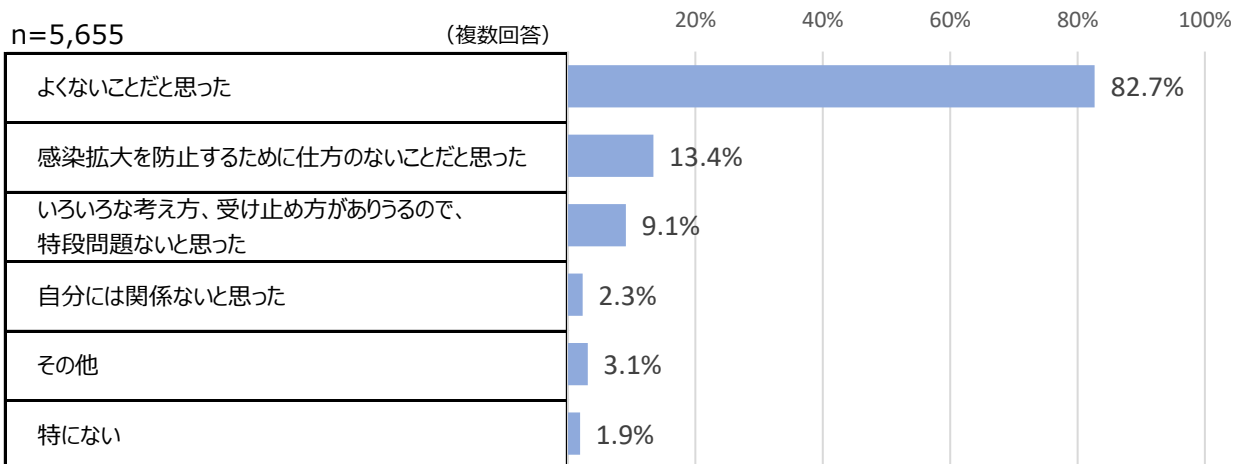
- ・ 感染後、回復したにもかかわらず、職場を休むように言われた。
- ・ 医療従事者の家族であることを理由に保育園や幼稚園への登園、学校への登校を見合わせるように言われた。
- ・ 外国人であることを理由に入店を断られた。

問10（2）前問例のような状況についてどのように思いましたか。この中からあてはまるものをいくつでもお選びください。 ※問10（1）で「ある」と回答した人のみ （報告書 P 45～46）

「よくないことだと思った」82.7%がトップ。

「感染拡大を防止するために仕方のないことだと思った」は13.4%、

「いろいろな考え方、受け止め方があるうるので、特段問題ないと思った」は9.1%。



## 11 啓発事業について

問11（1）人権啓発・教育の推進のために、東京都が特に力を入れるべきだと思うことは何ですか。

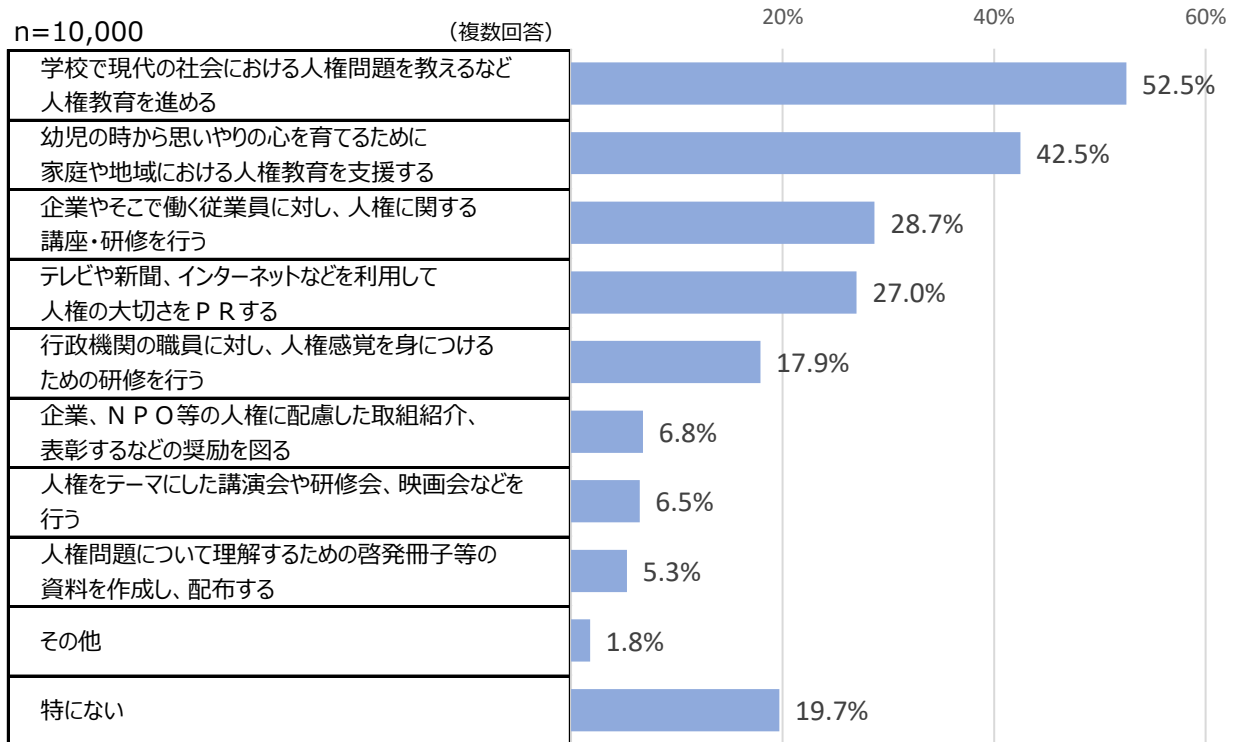
この中からあてはまるものを3つまでお選びください。

（報告書P47～P49）

「学校で現代の社会における人権問題を教えるなど人権教育を進める」52.5%がトップ。

「幼児の時から思いやりの心を育てるために家庭や地域における人権教育を支援する」42.5%、

「企業やそこで働く従業員に対し、人権に関する講座・研修を行う」28.7%と続く。



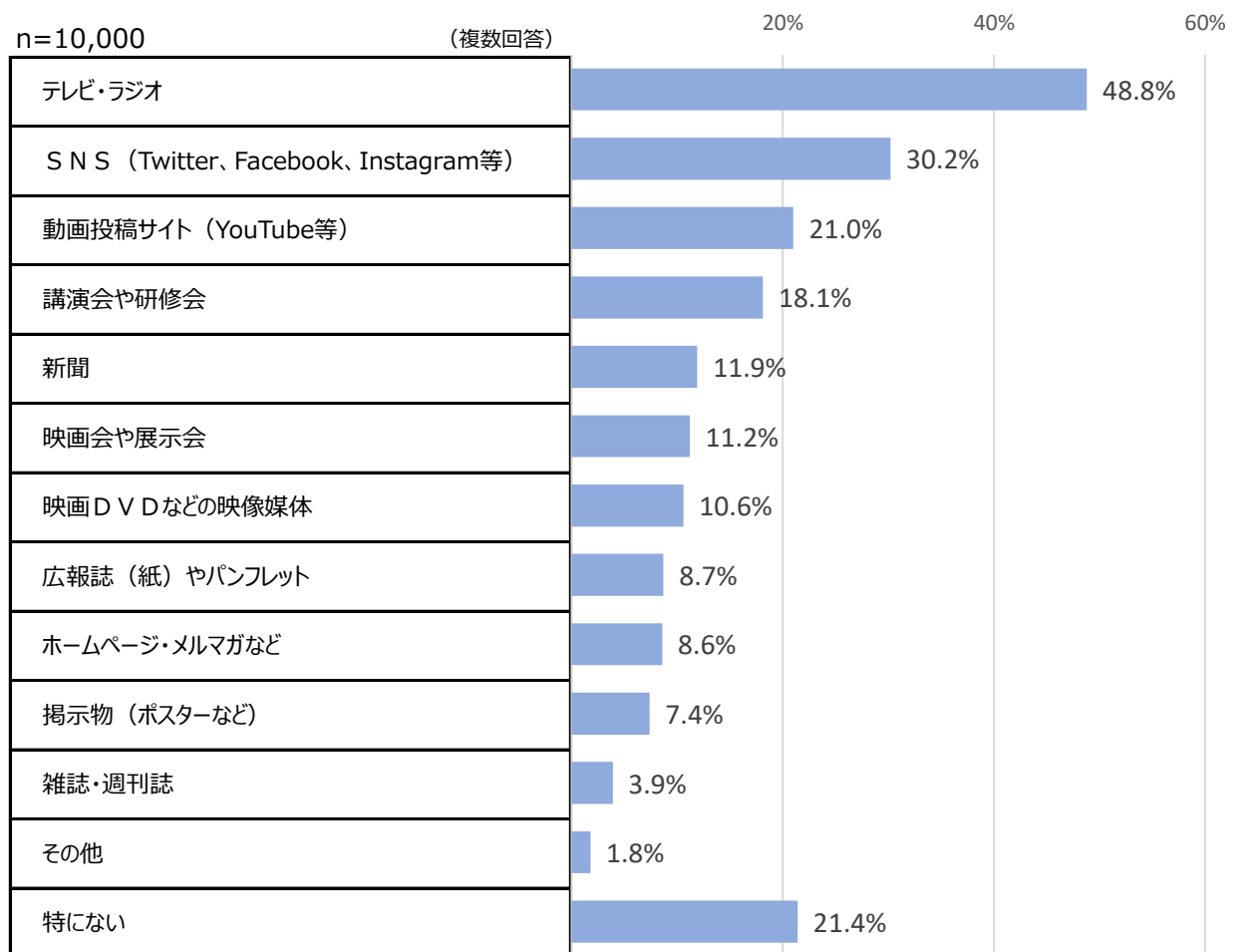
問11 (2) 人権問題について、さまざまな方法で啓発活動が行われていますが、あなたの印象として、特に効果があると思う啓発手段は何ですか。この中からあてはまるものを3つまでお選びください。

(報告書 P50～P52)

「テレビ・ラジオ」48.8%がトップ。

「SNS (Twitter、Facebook、Instagram等)」30.2%、

「動画投稿サイト (YouTube等)」21.0%と続く。





## 12 人権尊重社会の実現について

問12 今後、人権を尊重する社会を作るためにはどのようなことの充実が大切だと思いますか。

この中からあてはまるものを3つまでお選びください。

(報告書P53～P55)

「人権を侵害された時の救済・支援制度」49.1%がトップ。

「法律等の整備」48.1%、「都民一人ひとりの人権意識の向上」33.6%と続く。

